

保険薬局 関係各位

済生会横浜市東部病院

薬剤部 管理責任者

菅野 浩

医薬品情報室 担当

大幸 淳

a_daikoh@tobu.saiseikai.or.jpご案内：採用薬変更のお知らせ

平素より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

さて、2025 年 2 月に開催された薬事委員会の結果を共有いたします。記載しました「マスタ変更日」をもちまして、以下の薬剤が当院で採用区分を変更いたします。恐れ入りますが、関係各所にご周知くださいますようお願い申し上げます。何かご不明な点がございましたら、当院まで連絡をお願い致します。

記

名称	規格	製薬企業*	旧区分	新区分	マスタ変更日	YJ コード
ビベスピエアロスフィア 120 吸入	120 吸入/キット	アストラゼネカ	短期試用	正式採用	2025/4/1	2259808G2027
タリージェ錠	2.5mg/錠	第一三共	院外限定	短期試用	2025/4/1	1190026F1028
	5mg/錠		院外限定	短期試用	2025/4/1	1190026F2024
クービビック錠	25mg/錠	塩野義	未採用	短期試用	2025/4/1	1190033F1028
	50mg/錠		未採用	院外限定	2025/4/1	1190033F2024
クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール液 1%消毒布 4×4「ハクゾウ」	2 枚/袋	ハクゾウ	未採用	短期試用	2025/4/1	261970BX4047
ニトログリセリンテープ「トロー」 ¹⁾	27mg/枚	東和	未採用	院外限定	2025/4/1	2171701S6040
ミリステープ ¹⁾	5mg/枚	日本化薬	正式採用	採用削除	2025/3/31	2171701S4048
パロキセチン OD 錠「トロー」 ¹⁾	5mg/錠	東和	未採用	院外限定	2025/4/1	1179041F6027
	20mg/錠		未採用	院外限定	2025/4/1	1179041F5020
パキシル錠 ¹⁾	5mg/錠	グラクソ	院外限定	採用削除	2025/3/31	1179041F3028
	10mg/錠		院外限定	採用削除	2025/3/31	1179041F1025
	20mg/錠		院外限定	採用削除	2025/3/31	1179041F2021
メンタックス外用液 1% ¹⁾	10mL/本	科研	正式採用	採用削除	2025/3/31	2659708Q1062
デカドロンエリキシル 0.01% ¹⁾	0.1mg/mL	日医工	院外限定	採用削除	2025/3/31	2454002S1122
リクスマア皮下注 300μg ¹⁾	300μg/キット	サノフィ	院外限定	採用削除	2025/3/31	2499415G1024

裏面に続く

(参考：院内でのみ使用が想定される医薬品の採用薬の変更について)

名称	規格	製薬企業*	旧区分	新区分	マスタ変更日	YJコード
注射用ピクシリン S1000	1g/瓶	MeijiSeika	短期試用	正式採用	2025/4/1	6191401D3049
リネゾリド点滴静注 600mg/300mL 「HK」 ²⁾	600mg/袋	光	未採用	正式採用	在庫消尽次第	6249401A1076
リネゾリド点滴静注液 600mg「KCC」 ²⁾	600mg/袋	ネオクリティケア	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	6249401A1050
クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール 液 1%消毒布 4×4「ハクゾウ」	2枚/袋	ハクゾウ	未採用	短期試用	2025/4/1	261970BX4047
アルコサージュ VA	500mL/本	サラヤ	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	薬価未収載

*	製薬企業名は当院における取り扱い企業です。
1)	2025年3月末で経過措置満了のため。
2)	企業事由による発売中止、もしくは供給不安に伴う入手困難のため。

“お薬選択のすすめ”（院内フォーミュラ）追加について

● 神経障害性疼痛治療薬

第一選択薬	第二選択薬
プレガバリン製剤 (特徴) 通常1日2回で使用するが、腎機能に応じ初期量、維持量の設定に留意が必要である。 中枢性、末梢性の神経障害の治療薬として禁忌がなく、また相互作用が少ないため、臨床現場で第1選択薬として用いられている。 ・OD錠（口腔内崩壊錠）が発売されている。 ・後発医薬品が発売され、ミロガバリン製剤と比較して経済性に優れる。 (※2025年度薬価 300mg/日 で 50.6 円/日) 以上より、経済性にも優れていることから“第一選択薬”とした。	ミロガバリン製剤 (特徴) 通常1日2回で使用するが、腎機能に応じ初期量、維持量の設定に留意が必要である。 プレガバリンが有する「繊維筋痛症に伴う疼痛」は承認されていない。ミロガバリンは日本で開発された薬剤であり、海外での承認がないためガイドラインでの推奨には記載されていない。 後発医薬品が発売されておらず、プレガバリン製剤と比較して薬価が高いことから第一選択としては、推奨されない。 (※2025年度薬価 30mg/日 で 309.6 円/日) OD錠の発売はあるものの、高温条件下での安定性に懸念があり、一包化の留意が必要となる。 以上よりプレガバリンが副作用等で使用できない場合の代替オプションとする。 (参考) 神経障害性疼痛薬物療法ガイドラインにおいて、ミロガバリンはプレガバリンと同様に使用できると記載されている。 癌性疼痛の薬物療法に関するガイドラインでは、鎮痛補助薬として両剤は並列して記載されている。

● 不眠症治療薬

第一選択薬	第二選択薬
エスゾピクロン錠 (特徴) 非ベンゾジアゼピン系薬であり、転倒、転落リスクがベンゾジアゼピン系薬と比較して少ないことが明らかとなっている。 (院内では) エスゾピクロン錠1mg が該当する。 (使用方法) ・高齢者には1回1mg ・成人には1回2mg で、必要時1mgの増量が可能。 (参考) 後発医薬品が発売され経済性に優れる。 (※2025年度薬価 1mg錠 で 7.7 円)	オレキシン受容体拮抗薬 (特徴) GABA受容体を介さず、抗コリン作用、筋弛緩作用を有さない。せん妄や転倒リスクが生じにくいとの報告も一部あるものの、現時点では純粋な不眠を目的とした頓用処方など、不眠症治療の第一選択薬とはならない。転倒、転落のリスクに関しては、非ベンゾジアゼピン系薬同様、ベンゾジアゼピン系薬と比較して少ないことが明らかとなっている。 (院内では) ベルソムラ錠、デレピ錠、ケーピック錠が該当する。 後発医薬品が発売されておらず、エスゾピクロンと比較して経済性に劣る。 (参考) ※2025年度薬価 (ベルソムラ15mg : 90.8円、20mg : 109.9円) (デレピ2.5mg : 44.9円、5mg : 71.3円) (ケーピック25mg : 57.3円)

以 上